

閲覧用

いせはら市民活動サポートセンター

私選 いせはら

旧跡 100選



いせはら観光ボランティアガイド&ウォーク協会

はじめに

公民館の事業で「地域の史跡めぐり」を計画。そのPRに見学する旧跡のスケッチを入れて募集したら、少しは参加者も増えるかなと思い、非才もかえりみず掲載することにしました。現場で描くことは他人の目もあって気がひけましたが、勇を振って挑戦し「公民館だより」にのせました。こんなことがきっかけとなり、高部屋地域を知る意味で調査を兼ねて描いた作品を「公民館まつり」に展示したところ関心があるのにおどろきました。そこで次年度は地域を広げて史跡めぐりをしましたが応募者が多くてお断りする方もできてしまいました。

かくして次第に資料も増え、欲しい方も出てきましたので「私選いせはら、旧跡100選」として史跡、伝説、文化財等を含めてまとめてみました。

ご存知の通り本市は旧跡が非常に多いがその割に知っている方が少ない。これらの旧跡をたずねて「ふるさとを見直したり」「ふれあいハイクをしたり」「文化財を大切に作る心」が養えたら幸いと思います。

目次

大山地区

1 大山の阿夫利神社	7 大山の八意思兼神社
2 大山、下社の登拝門	8 大山の茶湯寺
3 大山中腹の拝殿	9 大山の良弁堂
4 大山の二重の滝	10 大山の権田公園
5 大山の高麗神社	11 子易の易往寺
6 大山のお不動さん	

比々多地区

12 三之宮の浄業寺跡	18 坪之内、近藤如水の墓
13 三之宮の心敬塚	19 坪之内の痢病神さん
14 三之宮比々多神社	20 善波の三嶋神社
15 三之宮保国寺の大地蔵	21 笠窪の箕輪駅跡
16 三之宮の万松寺と子の権現	22 串橋（伝）善波太郎重氏の墓
17 坪之内の長福寺観音堂	23 白根の神明神社

伊勢原地区

24 板戸の毘沙門池	28 伊勢原の大宝寺
25 伊勢原の大神宮	29 伊勢原の火伏不動明王
26 伊勢原の大福寺	30 田中の十二柱神社
27 伊勢原の大福寺の大楠	

伊勢原南地区

31 東大竹の自徳院	36 大句（岡崎）方円寺の大地蔵
32 八幡台1丁目の八幡台遺跡	37 大句の乙女地蔵
33 東大竹の八幡神社	38 桜台、三福寺の子の神社
34 東大竹の光明院	39 岡崎の岡崎四郎義実之墓
35 岡崎無量寺＝岡崎城跡	40 桜台の大山道標

大田地区

41 沼目の八坂神社	46 下平間の稲荷社
42 沼目、天王さんの鐘	47 下平間の水神さん
43 上平間、三観寺の宝篋印塔	48 小稲葉の安養寺
44 上平間の東円寺と舟つなぎ松	49 西屋の庚申塔
45 上平間の稲荷社	

成瀬地区

50 高森の小金神社	60 下糟屋の若宮八幡宮
51 高森の小金塚（古墳）	61 下糟屋の普濟寺の多宝塔
52 東方から見た石田城跡	62 下糟屋の大慈寺
53 石田の円光院	63 下糟屋の太田道灌の墓
54 石田城主為景、為久の墓	64 下糟屋の高部屋神社
55 石田の外堀・馬洗い場	65 下糟屋、高部屋神社の銅鐘
56 石田の子安明神社	66 下糟屋の丸山城跡
57 高森の道了さん（松高庵）	67 下糟屋のせきどめ地蔵
58 高森の高森神社	68 上粕屋から見た「ふじ山」
59 高森の白金地蔵	

高部屋地区

69 川上の熊野神社	94 日向薬師の仁王門
70 川上のこまどめ地蔵	95 薬師の鐘楼と鐘
71 七五三引きの五霊神社	96 日向薬師（日向山霊山寺）
72 上粕屋（台久保）の洞昌院	97 無常山浄発願寺（日向）
73 太田道灌の墓	98 伝・大友の皇子の陵（日向）
74 山王原の七つ塚	99 雨降山石雲寺（日向）
75 山王原の日枝神社	100 浄発願寺奥の院（岩窟）
76 山王原付近の空濠跡	
77 山王原の千石せぎ	(注) 39 は平塚市にあります。
78 子易の比々多神社	
79 子易の宗源寺	
80 上粕屋の館原	
81 上粕屋の大門	
82 秋山の糟屋一族の墓	
83 秋山上の熊野金山神社	
84 原上の私塾弘文舎跡	
85 九沢の鎧塚	
86 日向（上荒田）の実蒨原古戦場	
87 洗水（渋田川）	
88 日向の石工	
89 洗水の「お通り坂」	
90 馬場と大松	
91 日向の浄水場	
92 日向の石像不動尊	
93 日向の白髯神社	



享保四年（1719）建立（下平岡）

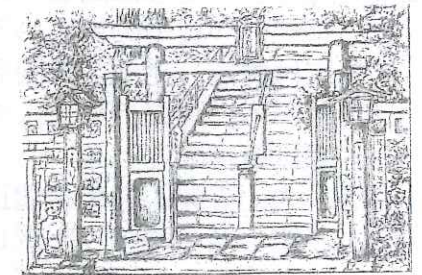
1、大山の阿夫利神社

関東の霊山といわれる大山は、標高 1,252m で山頂には阿夫利神社の本殿がある。この山頂からは縄文式土器（加尊利 B 式）や須恵器などが発掘され、原始時代からすでに信仰があったと思われる。よく晴れた日には遠く秩父、筑波、箱根、富士の山々、また伊豆の大島まで眺められ、まさに絶景である。また、大山は神聖な山、先祖の靈魂のまします山、石尊山（せきそんさん）ともいわれてきた。



2、大山、下社の登拝門

大山では毎年7月27日から8月17日までを夏山といい、この期間は下社の登拝門が開かれ、正面から登山ができる。夏山の初日、午前1時ごろ宿坊に泊っていた東京日本橋小伝馬町の「お花講」の講員が白の行衣姿で下社に登り、登拝門の前で儀式を行ない開扉する。これは元禄年間から続いているという。



7/27～7/31・初山、8/1～8/7・7日堂
8/8～8/12・間の山、8/13～8/17、盆山

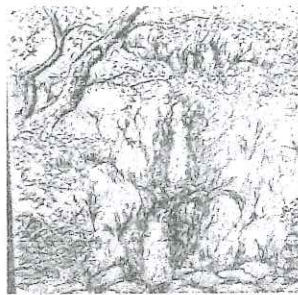
3、大山中腹の拝殿

拝殿は阿夫利神社の下社のことで、崇神天皇のころの創建と伝えられている。ここまでケーブルカーがあり、登山に弱い人でも登れるが、ここから先きは急な坂道で容易ではない。標高680m、よく晴れた日には眼下に相模平野、遠く伊豆大島まで一望できる。ここから東に日向薬師、西に蓑毛（みのげ）大日堂へ下る道もある。



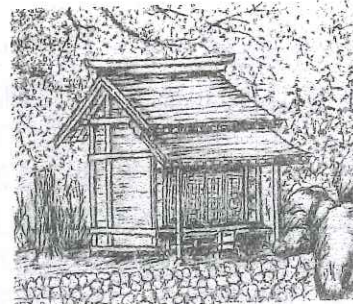
4、大山の二重滝

拝殿の下、茶店から右折し見晴台へ行く途中に二重の滝がある。巨巖をすべりおりるかの様な二段滝で、水量は少ないが深山幽谷で、いかにも大山詣りの行者の最後の「みそぎ場」といった感じを強くする。滝の反対 即ち道下に老杉2本がそびえて立っているが、これを「のろいの杉」といい、昔、のろいの人形を夜中にうちこんだものがいたという。



5、大山の高龍神社

二重の滝のすぐそばに高龍神社がある。古来から雨乞いや止雨の神として信仰され、雨乞いには黒馬、止雨には白馬を献納し祈願したという。高龍の高は山や峰のことをいい、龍は竜神のことをいう。「大山寺縁起」には、大山寺開山の良弁僧正が登山した時、二重の滝に竜神が出現したと書かれていることからこの場所に祀ったものと思われる。



6、大山のお不動さん

大山寺または雨降山大山寺（うこうざんたいさんじ）ともいう。天平勝宝7年（755）、奈良東大寺の別当良弁僧正が開創、聖武天皇の勅願寺となった古刹である。その後災害などにより幾多の盛衰があったが、鎌倉時代以降は武家の信仰もあつかった。特に、江戸時代には、関東一円「大山詣り」の信者が多かった。明治の初めの神仏分離で、中腹拝殿の所から現在地に移された。本尊の鉄鑄不動明王は国の重要文化財である。



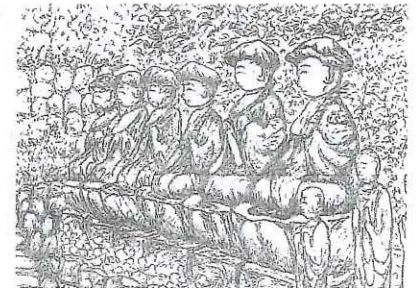
7、大山の八意思兼神社

この神社は追分社ともいい、男坂と女坂の分かれ道にあり、納め太刀が奉納されているので有名である。現在2.3mもの大太刀二口がある。この風習は源頼朝が深く石尊社を敬い、毎年自分の佩刀を納め、天下泰平、武運長久を祈った。このことが庶民にも及び、開運、厄除けを祈り木太刀を奉納する。最近神社は建て直され昔を偲ぶ人には何かもの足りない。紅葉の素晴らしい所である。



8、大山の茶湯寺

この寺は木像の釈迦涅槃仏（しゃかねはんぶつ）を本尊とする。これはお釈迦様が入滅した時の姿像で、別名「寝釈迦像」ともいっている。近辺の農家では没後百1日目に、この寺に参詣し、死者の法名を記して茶湯の供養をうけ、亡き人の冥福を祈ると、必ず死者に似た人に会えるといわれている。山内には供養石仏がたくさんあり、また、石地藏や浄土門の名僧、徳本上人の六字名号塔などがある。



9、大山の良弁（ろうべん）堂

大山行きのバス終点の少し手前に良弁堂がある。大山寺開創の良弁僧正を祀ったお堂で、堂内には良弁自作といわれている僧正小児の像と42歳の時の像が安置されている。お堂の左には高さ約10m、竜口より水が落ちる良弁滝があり、滝壺の左に目通り1.3m、高さ15m程のタラヨウの木がある。この木は市の天然記念物で葉に傷をつけると黒くなる様子がタラジュに似ているといっているので、この名がつけられたという。

